

冒険キャンプ体験が子どもの食意識・食知識に与える影響

長井 健(生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)

指導教員 黒澤 毅

キーワード：冒険キャンプ体験, 子ども, 食意識, 食知識

1. 序論

小学校の学習指導要領に「食育」のキーワードが挙げられている。大沢²⁾は、子どもの食生活について加工食・インスタント食品・米離れ・スナック菓子・清涼飲料水の大量摂取・ダイエットと称しての主食減らし・朝食抜き・孤食など食生活が崩壊している。現代の子どもの中では、野菜嫌いなどといった偏食も大きな問題となっていると述べている。また、キャンプでの食事は重要なプログラムの一つであり¹⁾、自ら食材を採るなどといった冒険キャンプでは、食意識・食知識への影響は大きいと考えられる。

そこで本研究は、冒険キャンプ体験が子どもの食意識・食知識に及ぼす変化について明らかにすると共に、食意識・食知識に影響を及ぼした要因について検討することを目的とする。

2. 研究方法

【対象者】2012年8月15日～8月24日(9泊10日)に実施された0キャンプに参加した小学4年生から中学1年生の9名を対象者とした。尚、キャンプのプログラムは、ハイク・シュノーケル・カヤックなどを行いながら移動型キャンプを行い、キャンプ終盤に無人島にて限られた食材や水を使用した、サバイバルキャンプ体験を伴うものであった。

【調査用紙】食意識・食知識調査は、内閣府⁴⁾によって制定された食育基本法、食生活指針を参考に、野外教育を専門とする大学教員の指導のもと「食べ物についてのアンケート」を作成して行った。また、キャンプ中の変化を明らかにするため「ふりかえりシート」を筆者が独自に作成して用いた。

【調査時期】調査は、キャンプ前(pre1)、サバイバルキャンプ前(pre2)、キャンプ終了後(post1)キャンプ終了1ヶ月後(post2)の計4回実施した。調査時期を表1に示す。

	キャンプ直前 pre1	キャンプ中 毎晩	サバイバル前 pre2	キャンプ 終了後 post1	1ヶ月後 post2
食べ物について	○	×	○	○	○
ふりかえりシート	×	○	○	○	×

3. 結果と考察

1) 調査時期による食意識・食知識の得点変化をみるため、Friedman 検定を行った結果、食意識の向上が見られた。特に、pre1-post1 間に有意な向上が見られた。サバイバルキャンプ中に、限られた食材や水を使用し、モリや釣りなどにより自ら食材を採り調理することが、食意識の向上につながったと考えられる。食意識についての平均と標準偏差(Friedman 検定)を表2に示す。

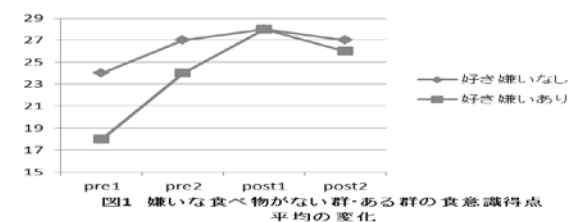
因子	N	pre1	pre2	post1	post2	χ ²
		M(SD)				
食意識	9	22.67(4.09)	26.67(2.69)	27.89(1.36)	26.67(2.78)	14.82 **

**p<.01

また、食知識得点は向上したものの有意な向上は見られなかった。しかしアンケート記述には、「もったいないから残さず食べようと思った」などといった記入がみられた。今回の対象者は、あらかじめ食知識が高かったことや、キャンプカウンセラーによる食知識指導がなかったことも要因と考えられる。食知識についての平均と標準偏差(Friedman 検定)を表3に示す。

因子	N	pre1	pre2	post1	post2	χ ²
		M(SD)				
食知識	9	16.22(2.39)	16.67(2.40)	17.89(1.36)	17.00(1.23)	3.41

2) 嫌いな食べ物がある子どもと嫌いな食べ物がない子どもの食意識変化の差を調べるため、事前調査にて、嫌いな食べ物があると答えた群と、そうでない群のそれぞれの食意識得点を平均したところ、pre1 では両群の間に差がみられたが、post1 では差がみられなかった。嫌いな食べ物がある子どもは、サバイバルキャンプ中の野外料理活動によって、自分で作ったから頑張ってみようといった気持ちによる、食意識の向上がみられたと考える。また post2 では、嫌いな食べ物があると答えた群と嫌いな食べ物がないと答えた群共に post1 よりも減少した (図1)。



4. まとめ

冒険キャンプ体験では食意識が向上することが明らかになった。特に、嫌いな食べ物がない子どもに比べ、嫌いな食べ物がある子どもの方が、得点が向上することが明らかになった。また、冒険キャンプ体験による食知識は向上しなかった。食知識の変化には、食知識の指導や食知識の変化につながるプログラムが必要と考えられる。

引用・参考文献

- 1) 松田 稔(2000):松田稔のキャンプの心、キャンプにおける諸問題, p.110
- 2) 大沢 博(2007):児童心理, 食生活を見直す, 金子書房, 第1月号pp18-26
- 3) 食育基本法(2005):分冊六法全書、新日本法則出版
- 4) 内閣府:(<http://www.mhlw.go.jp>),最終アクセス日:2012年12月3日
- 5) 玉井 章人(2003):野外炊事を重視した教育キャンプが参加児童・生徒に及ぼす教育的効果
- 6) 吉倉 高広(2000):「子どもの長期自然体験村」における「食」に関する活動の実態と今後の課題ー野外炊事活動を中心としてー 筑波大学体育専門学群卒業研究